



症例6：左感覚性言語野  の上の腫瘍  が徐々に大きくなり、失語症となる可能性があるため開頭腫瘍摘出術を行いました。顕微鏡下に脳表の血管や膜は全て残し、全摘出しました。手術時間は2時間36分でした。術後経過は良好で自宅退院されました。病理診断は髄膜腫でした。このように言語野直上の腫瘍に対する手術は、術前の詳細な検討と手術中の繊細な手技が必要です。

